

平成27年国勢調査結果から見た常陸太田市の状況

～ 人口等基本集計結果概要 ～

平成 27 年 10 月 1 日現在で行った国勢調査の結果（確定値）が、総務省統計局から調査項目ごとに順次公表されています。

この結果をもとに、主要な項目について常陸太田市の状況をまとめました。

《目次》	ページ
1 人口と世帯数	
全国・茨城県・常陸太田市の人口と世帯数	1
2 人口	
(1) 人口の推移(大正 9 年～平成 27 年)	1
(2) 人口と世帯の順位	2
(3) 人口増減数の状況（平成 22 年～27 年）	2
(4) 人口増減率の状況（平成 22 年～27 年）	2
(5) 男女の割合	3
(6) 人口密度	3
3 世帯数	
(1) 世帯数と世帯人数	3
(2) 一般世帯の家族類型別世帯数	4
(3) 一般世帯の家族類型別割合の推移	4
4 年齢別人口	
(1) 年齢別人口・割合	5
(2) 年齢別割合の推移	5
(3) 人口ピラミッド	6
5 結婚の状況	
(1) 未婚率の推移（25 歳～44 歳）	7
(2) 5 歳ごとの未婚率（25 歳～44 歳）	7

※本資料は平成 28 年 10 月までに国及び県が公表した結果をもとに作成いたしました。

◇問合せ先◇

常陸太田市政策企画部情報政策課情報化推進係
TEL 0294-72-3111（内線 305・306）
平成 29 年 3 月発行



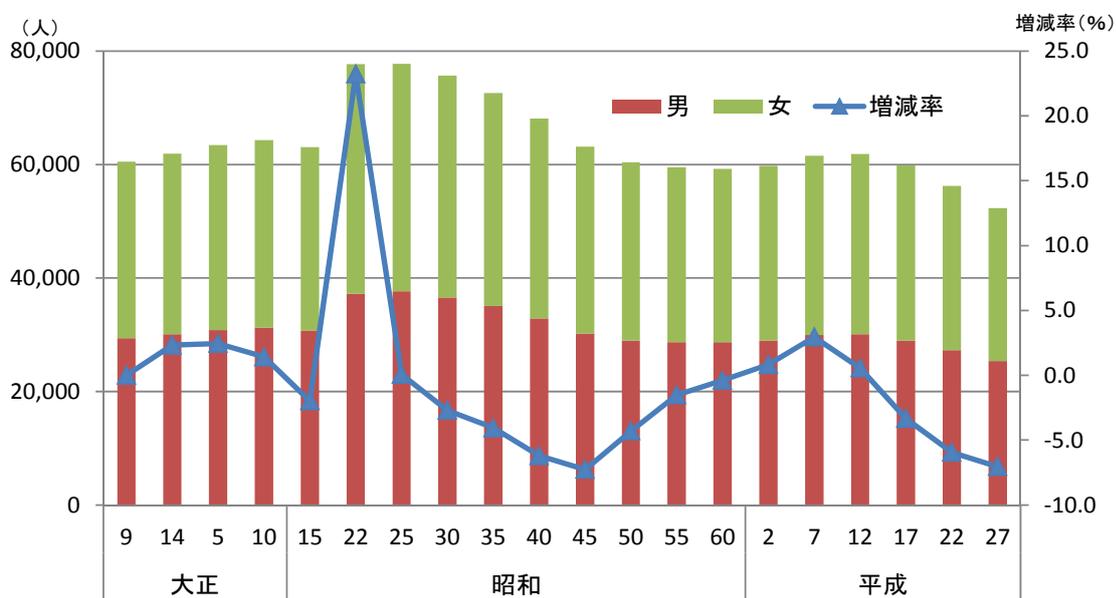
1 人口と世帯数(平成27年10月1日現在)

○全国・茨城県・常陸太田市の人口と世帯数

区分		平成27年	平成22年	増減数	増減率
全 国	総数	127,094,745	128,057,352	△962,607	△0.8
	男	61,841,738	62,327,737	△485,999	△0.8
	女	65,253,007	65,729,615	△476,608	△0.7
	世帯数	53,448,685	51,950,504	1,498,181	2.9
茨城県	総数	2,916,976	2,969,770	△52,794	△1.8
	男	1,453,594	1,479,779	△26,185	△1.8
	女	1,463,382	1,489,991	△26,609	△1.8
	世帯数	1,124,349	1,088,411	35,938	3.3
常陸太田市	総数	52,294	56,250	△3,956	△7.0
	男	25,382	27,292	△1,910	△7.0
	女	26,912	28,958	△2,046	△7.1
	世帯数	19,436	19,801	△365	△1.8

2 人口(平成27年10月1日現在)

(1) 人口の推移(大正9年～平成27年)



※平成12年までは、旧常陸太田市・旧金砂郷町・旧水府村・旧里美村の合計値

- ・常陸太田市の人口推移は、戦後昭和22年に急激に上昇した後、緩やかに減少を続けた。
- ・平成2年から12年調査では住宅団地の造成などにより人口が一時的に増加した。
- ・17年調査からは再び減少に転じ、22年調査では17年調査と比べ、3,552人(5.9%)の大幅な減少となったが、今回の27年調査ではさらに3,456人(7.0%)の減少となった。

(2) 人口と世帯の順位

人口

順位	市町村名	人数
1	水戸市	270,783
2	つくば市	226,963
3	日立市	185,054
4	ひたちなか市	155,689
5	古河市	140,946
...
19	常陸太田市	52,294
...
40	大洗町	16,886
41	利根町	16,313
42	美浦村	15,842
43	河内町	9,168
44	五霞町	8,786

世帯

順位	市町村名	世帯数
1	水戸市	117,590
2	つくば市	98,190
3	日立市	78,625
4	ひたちなか市	61,104
5	土浦市	57,257
...
18	常陸太田市	19,436
...
40	大洗町	6,661
41	利根町	6,138
42	美浦村	5,958
43	河内町	2,950
44	五霞町	2,894

(3) 人口増減数の状況(平成22年~27年)

順位	市町村名	増減数(人)
1	つくば市	12,373
2	つくばみらい市	4,675
3	牛久市	2,633
4	守谷市	2,271
5	水戸市	2,033
...
40	常総市	△ 3,837
41	筑西市	△ 3,954
42	常陸太田市	△ 3,956
43	稲敷市	△ 4,085
44	日立市	△ 8,075

区分	増減数(人)
常陸太田地区	△ 1,859
金砂郷地区	△ 930
水府地区	△ 655
里美地区	△ 512
計	△ 3,956
年平均増減数(5年間)	791

(4) 人口増減率の状況(平成22年~27年)

順位	市町村名	増減率(%)
1	つくばみらい市	10.5
2	つくば市	5.8
3	守谷市	3.6
4	牛久市	3.2
5	鹿嶋市	2.7
...
37	常陸太田市	△ 7.0
...
40	城里町	△ 7.9
41	美浦村	△ 8.4
42	稲敷町	△ 8.7
43	河内町	△ 9.9
44	大子町	△ 10.1

区分	増減率(%)
常陸太田地区	△ 5.1
金砂郷地区	△ 8.6
水府地区	△ 12.5
里美地区	△ 13.7
計	△ 7.0

(5) 男女の割合

順位	市町村名	男女比(%)
1	鹿嶋市	107.0
2	神栖市	106.3
3	八千代市	105.6
4	美浦村	103.3
5	かすみがうら市	102.5
...
40	笠間市	95.6
41	那珂市	94.9
42	城里町	94.7
43	大子町	94.4
44	常陸太田市	94.3

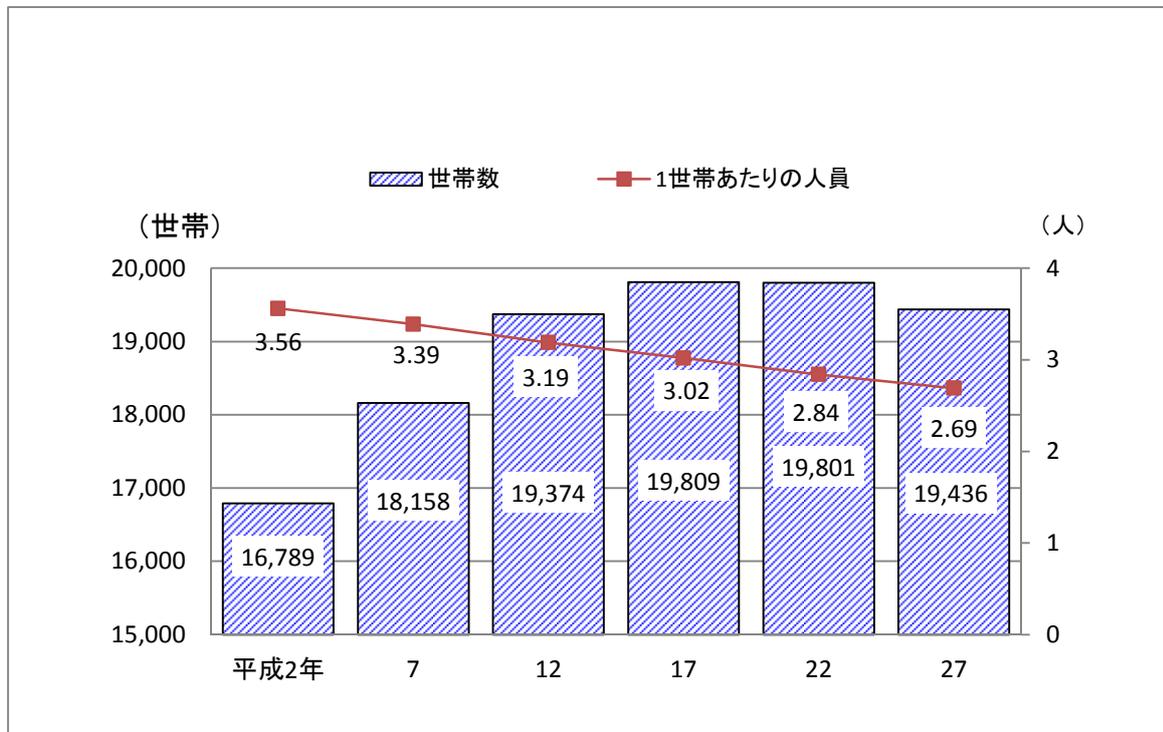
(6) 人口密度

順位	市町村名	(人/km ²)
1	守谷市	1,813.3
2	ひたちなか市	1,558.0
3	取手市	1,523.7
4	牛久市	1,431.0
5	水戸市	1,246.0
...
40	高萩市	153.1
41	常陸太田市	140.6
42	城里町	122.4
43	常陸大宮市	122.2
44	大子町	55.4

※女性 100 人とした場合の男性の割合

3 世帯数(平成27年10月1日現在)

(1) 世帯数と世帯人数



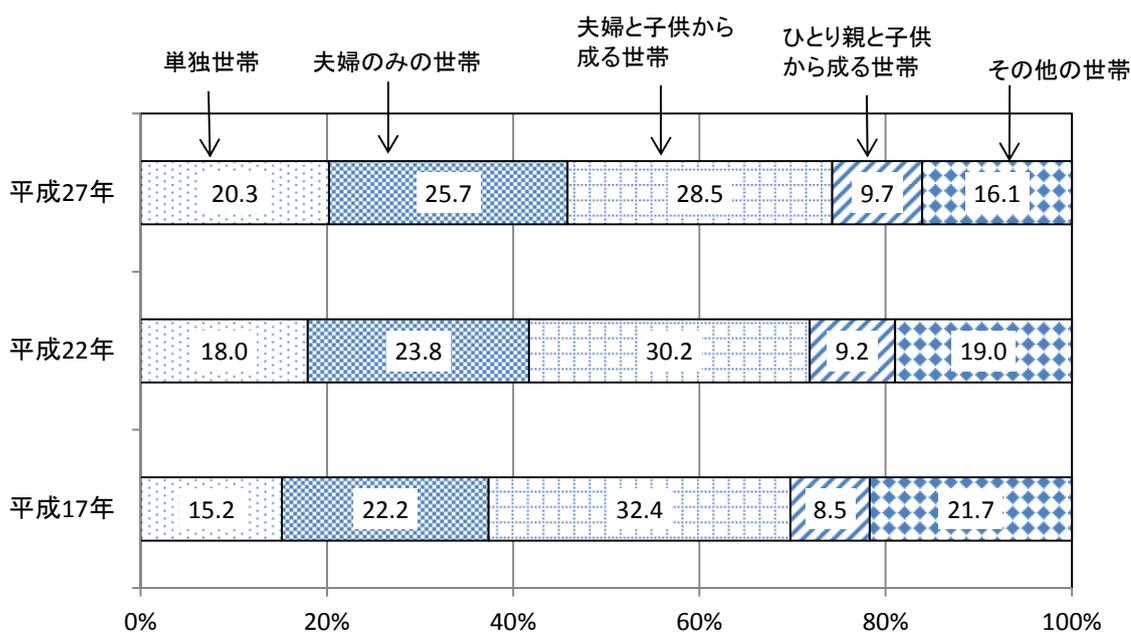
※平成 12 年までは、旧常陸太田市・旧金砂郷町・旧水府村・旧里美村の合計値

- ・常陸太田市の総世帯数は 19,436 世帯。17 年調査より減少し続けている。
- ・1 世帯当たりの世帯人員は 2.69 人で、少子化、核家族化、単身世帯が増加している。
- ・世帯規模でみると、世帯人員 1～2 人が約半数を占め、世帯の少数化が進行している。

(2) 一般世帯の家族類型別世帯数

区 分	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年
単独世帯	3,014	3,566	3,932
夫婦のみの世帯	4,399	4,707	4,975
夫婦と子供から成る世帯	6,408	5,968	5,533
ひとり親と子供から成る世帯	1,688	1,810	1,874
その他の世帯	4,300	3,750	3,122

(3) 一般世帯の家族類型別割合の推移



- ・「夫婦と子供から成る世帯」が減少しているのに対し、「単独世帯」「夫婦のみの世帯」「ひとり親と子供から成る世帯」が増加している。
- ・単独世帯 3,932 世帯のうち 65 歳以上の高齢者単独世帯は 2,469 世帯で、単独世帯の 63%を占めている。

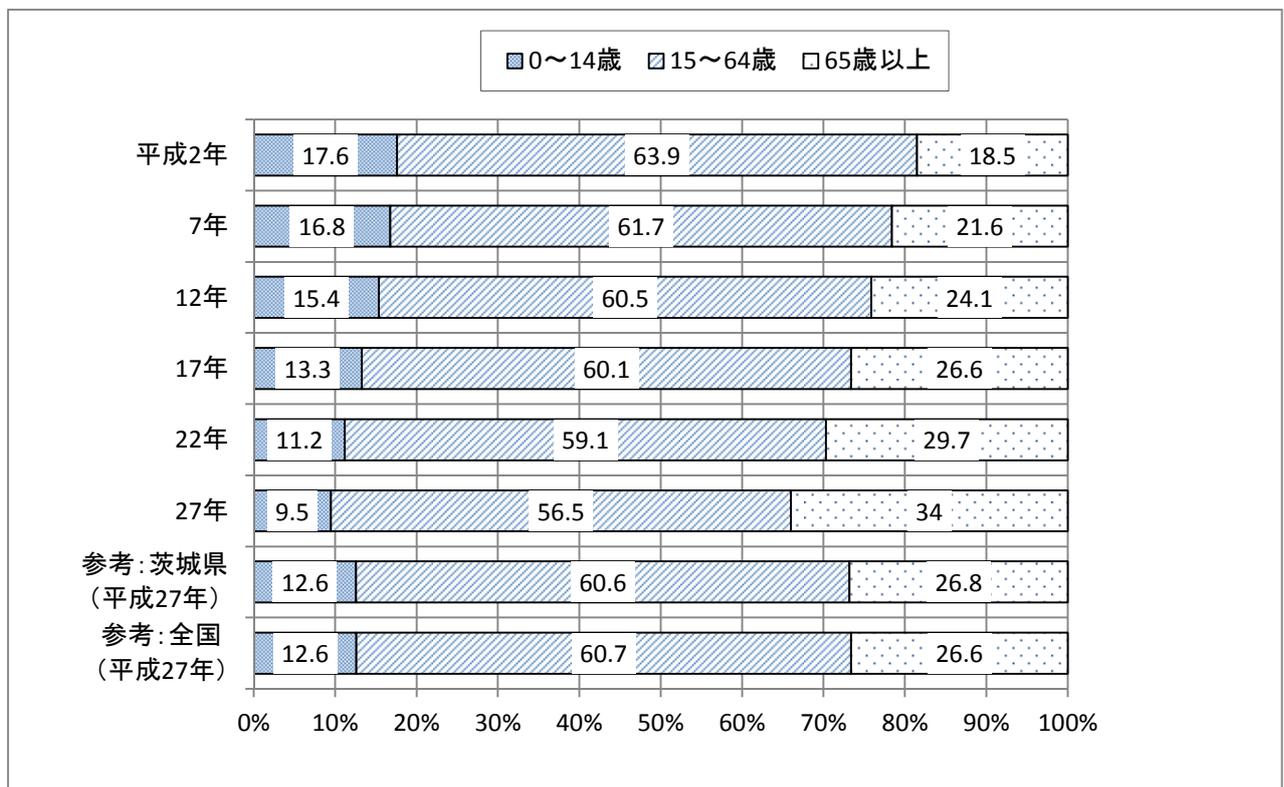
4 年齢別人口（平成27年10月1日現在）

（1）年齢別人口・割合

区 分	人口		割合（%）	
	平成27年	平成22年	平成27年	平成22年
0～14歳（年少人口）	4,975	6,301	9.5	11.2
15～64歳（生産年齢人口）	29,533	33,229	56.5	59.1
65歳以上（老年人口）	17,745	16,684	34.0	29.7
不 明	41	36	—	—
計	52,294	56,250	100.0	100.0

※不明は、調査確認が出来なかった方の人数。

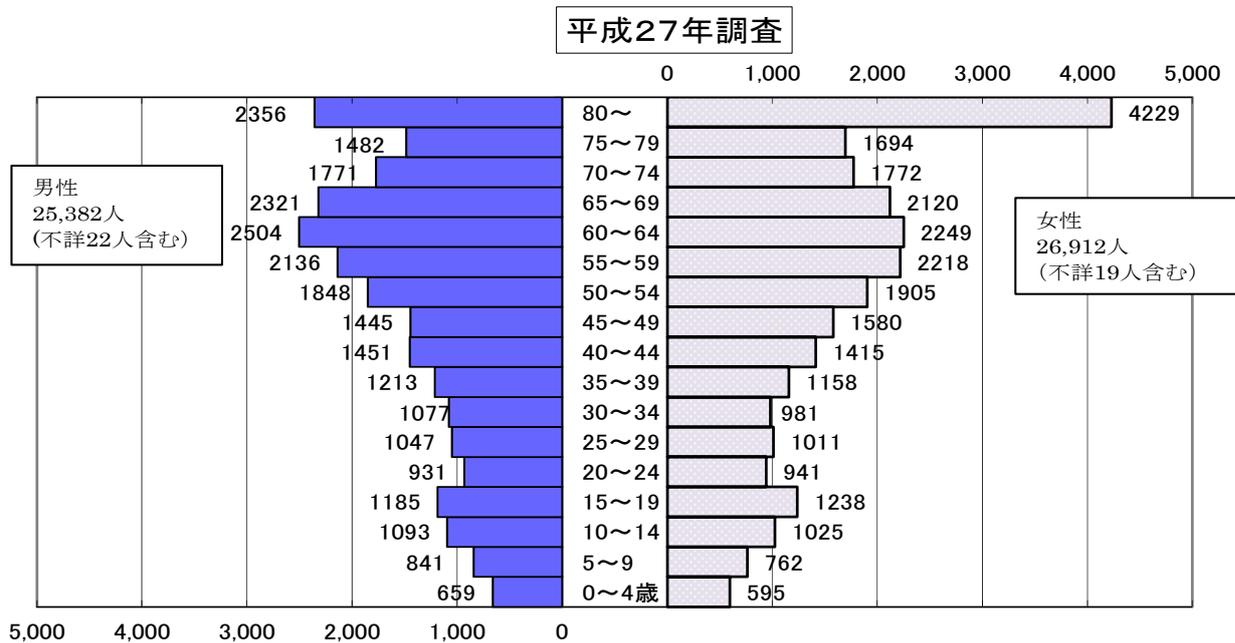
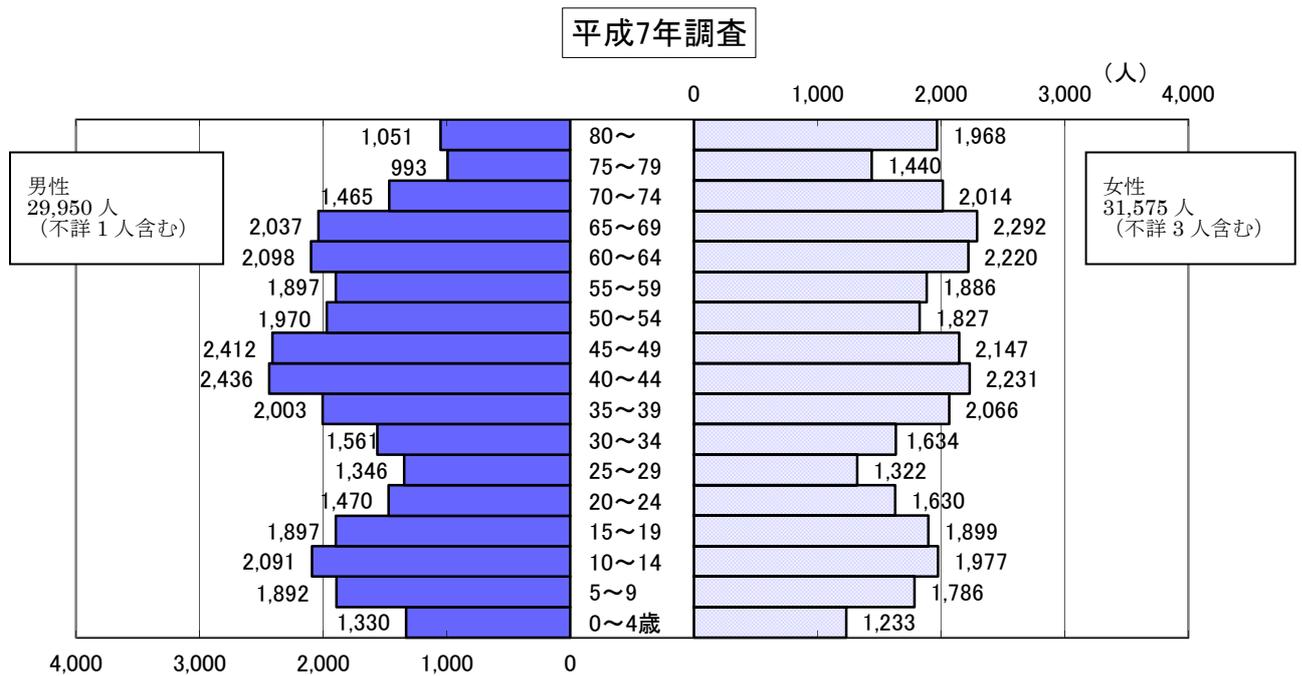
（2）年齢別割合の推移



※平成12年までは、旧常陸太田市・旧金砂郷町・旧水府村・旧里美村の合計値

- ・0～14歳と15歳～65歳以上の人口割合が減少し、65歳以上の人口割合が急激に増加している。
- ・出生数の減少により、0～14歳の割合が年々大きく減少している。

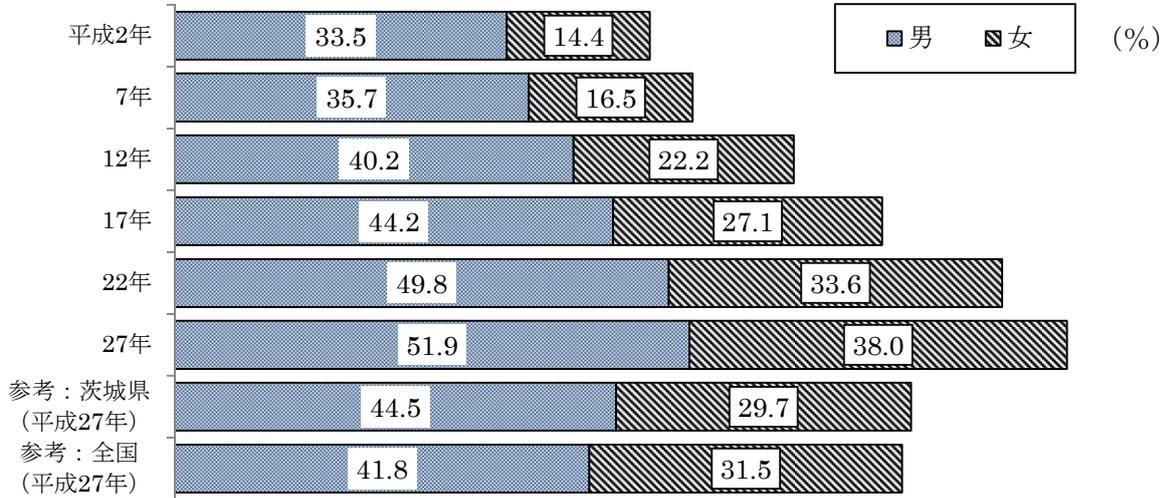
(3) 人口ピラミッド



- ・平成27年は、80歳以上の人口が急激に増加し45歳以下の人口が減少しており、少子高齢化を表す「逆ピラミッド形」となっている。
- ・20~39歳の人口が市外への転出等により、平成7年調査(調査時0~19歳)と比べ大幅に減少しており、少子化の進行にも影響している。

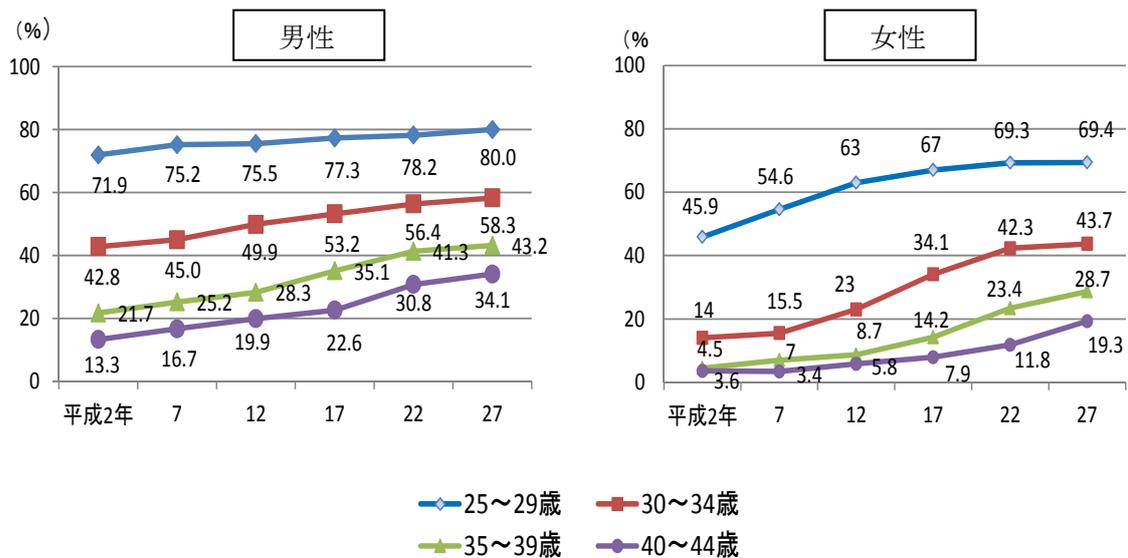
5 結婚の状況

(1) 未婚率の推移 (25歳～44歳)



- ※平成12年までは、旧常陸太田市・旧金砂郷町・旧水府村・旧里美村の合計値
- ・未婚率は男女とも年々増加しており、特に、男性の未婚率は既婚率を上回っている。
- ・25～44歳の既婚率(男性 44.6% 女性 56.4%)

(2) 5歳ごとの未婚率 (25歳～44歳)



- ※平成12年までは、旧常陸太田市・旧金砂郷町・旧水府村・旧里美村の合計値
- ・未婚率は、男女及び各年齢層とも増加している。
- ・特に、女性の35歳から44歳の未婚率が急激に増加している。